

横浜市立すみれが丘小学校 平成30年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○児童がすすんで取り組み、みんなで解決し、れいをつくして人間関係を築くことのできる学校づくりをすすめます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力の育成に向けて、特に問題解決的な学習の在り方について追求し、児童が主体的に学び、思考し、判断できるようにします。 ・豊かな心を一層育むために、表現活動や交流活動を重視し、お互いに認め合う心や自尊感情を高め、自信をもてるようにします。 ・児童理解に基づいた児童指導を全教職員の共通理解のもとに進め、迅速・正確・丁寧に対応します。 ・学校運営協議会、サポーター協議会、PTA組織の三位一体型組織の関係性を整理し、児童のための実効性のある運用を構築します。 ・施設とカリキュラムを大きく見直し、持続可能な形に再構築するとともに、検証しながら改善を加えます。 	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体	基本的な生活習慣に関する活動を全校で取り組み、けがの発生を減少させる。また、一校一実践運動を継続的に取り組みながら体力向上を目指す。	①けがや病気の少ない安全・安心な生活ができるよう、基本的な生活習慣の定着について、具体的対策を立案し、実行する。 ②一校一実践運動を通して、学校保健委員会を機能させ年間通じて体力の向上を図る。 ③養護教諭、調理員、栄養職員と連携しながら全学級で食育に関する授業を行い、給食の残量を減少させる工夫を講じる。
担当	指導部	

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

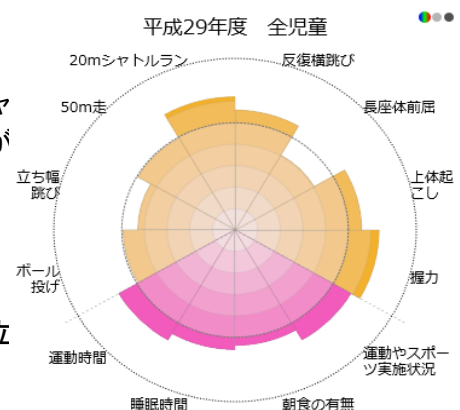
放課後や休日の運動クラブに所属している児童が比較的多くいる。近隣の公園ではできる遊びが限られていることや、塾に通っている児童が多いことなどから、体を動かす習慣が身に付いているとは言えない。そのため、よく体を動かす児童とそうでない児童との二極化が表れている。

健康面では、規則正しい生活を送れている児童が多いが、睡眠不足から体調不良を訴える児童もいる。前年度に比べて、運動時間が増えている児童が多くなったが、不注意などから転んで擦り傷や切り傷を負う児童が多い。給食に関しては各クラスの取り組みから、残食率が前年度に比べて減っている。

(2) 体力の概要と要因の分析

新体力テストの結果から市平均と比べて、持久力(20mシャトルラン)、筋力(握力、上体起こし)、敏捷性(反復横跳び)が上回っている。しかし、柔軟性(長座体前屈)と瞬発力(立ち幅跳び)が市平均よりも下回っている。

ここ数年、学校保健委員会での取組みで体力アップについて行ってきた。そのことから、一般的な体力といわれている持久力は向上してきた。柔軟性(長座体前屈)と瞬発力(立ち幅跳び)について、取り組んでいく必要がある。



3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科・保健体育科での取組》

○体育科では、年間計画に基づき学習を進め、児童が運動の楽しさや喜びを味わうことを通して、運動の日常化につなげられるように展開をする。

○保健分野では、養護教諭と連携しながら、興味・関心がもてるように学習を進める。

《他教科での取組》

○家庭科では、バランスの良い食事への意識向上など、食育指導に取り組む。

○食に関する興味・関心を高めるため、栄養職員と連携し、食育の授業を行う。

道徳・特活・総合

○すみれ運動会では、体育学習の発表の場として、目標に向かって、友達と協力しながら活動ができるようにする。

○運動委員会では、体育的行事の企画・運営し、運動することの楽しさを感じられるようにする。

○保健委員会では、児童の健康面での課題を解決し、健康づくりを目指せるような取り組みをする。

○給食委員会では、食事の大切さや献立の栄養面を伝え、健全な食生活を目指せるようにする。

○養護教諭、調理員、栄養職員と連携しながら、食育に関する授業を行う。

課外活動

○マリノス食育教室などの出前授業の活用。

○運動委員会や保健委員会の企画で、運動に取り組む習慣をつける。

○夏休み水泳教室、市体育大会、市球技大会に向けた朝練期間を設置し、運動の機会を増やす。

○年2回の学校保健委員会において、体力アップに関する取り組みを推進する。

○けがや病気について関心がもてるような取り組みを行う。

平成30年度 すみれが丘小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 めざせ体力アップ！

《ねらい》 クラスや学年の仲間との活動を通して、運動機会の確保、意欲の向上。

《内容》 運動委員会や保健委員会などが、ドッジボール大会や長縄チャレンジなどの体育的行事や体力アップ運動の企画・運営を行い、内容と取り組みの充実を図るとともに、運動の楽しさを感じながら、体力の向上を図る。

(行事例) 新体力テスト、ドッジボール大会、長縄チャレンジ、縄跳び名人など

●指 標： ①生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」

「1日の運動、スポーツの実施時間」

②長縄チャレンジに複数回取り組み、クラスごと団結や体力向上につながる目標を立て、継続して意欲的に取り組めるようにする。